

# 森 かずゆき

M O R I K A Z U Y U K I

## 感謝 と 情熱



### 私の決意



### 覚悟がもたらす勇気

私は生まれてから今日まで「故郷は瑞穂市」、このまちへの愛着は人一倍強いと思っています。

「親の姿は子どもの姿・子どもの姿は親の姿」と言われています。どんな人間になってもらいたいかと願う父母の教えこそ、最も大切な教育と言えるのではないのでしょうか。

私は、繰り返し聞いた両親の言葉から感謝の気持と、「感謝から生まれてくる意欲」を掴み取りました。

感謝から生まれた意欲は、私の人生の節々で流されない決意となり「覚悟がもたらす勇気」と成長しています。

私の瑞穂市へのまちづくりへの情熱は、途絶えることはありません。

もり かずゆき  
森 和之

### Profile



氏名  
森 和之  
(もり かずゆき)

生年月日	昭和33年9月14日
年齢	64歳
略歴	穂積町立牛牧小学校入学 穂積町立穂積中学校入学 県立本巣高等学校入学 駒澤大学経済学部商学科入学 穂積町役場奉職 税務課・福祉課・教育委員会 平成20年2月 医療保険課長 平成24年4月 企画部長 平成28年4月 福祉部長 平成30年3月 早期退職制度により退職 令和元年6月より 瑞穂市長

### 豊富な行政経験と実績から政策力、行動力をお約束します。

#### 後援会規約抜粋

- 目的** 森和之の政治活動を支援することを目的とする。
- 事業** 1.政策研究・懇談会の開催  
2.会報の発行  
3.その他、本会の目的達成に必要な事業
- 会員** 本会は、入会申込書を提出したものををもって会員とする。
- 経費** 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもって充当する。

### 瑞穂市の未来を創る会

〒501-0232 瑞穂市野田新田4125-5  
TEL 058-327-3303 FAX 058-327-3303  
mail : kazuyuki.mori.mizuho@gmail.com





誰もが健康で  
生きがいを持ち  
幸せに暮らせる「健幸都市」の実現

森かずゆき

日本は、過去に経験のない少子高齢化人口減少社会が進み、人口も数十年後には約9000万人まで減少すると予測されています。

このような時だからこそ、瑞穂市では次代を担う子どもたちが、夢を描き希望がもてる将来を見据えたまちづくりが、重要となります。

そのために、私は目先に捉われることなく、瑞穂市に明確なビジョンを示し、実行することがリーダーの責任だと考えます。

幕末の思想家吉田松陰は、「夢なき者に理想なし 理想なき者に計画なし 計画なき者に実行なし 実行なき者に成功なし」と名言を残しました。

私は、「ビジョンなきリーダーに成功なし。」と自身に言い聞かせています。

## 「未来」のため 森かずゆきの瑞穂ビジョン



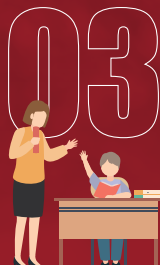
「健康・安心」健やかに安心して暮らせるまちの実現

- ウォーキングのまちの創設
- 高齢者タクシー助成事業の拡大
- 障がい者の自立支援の推進



「安全・快適」誇れる安全・機能性の高い快適なまちの実現

- JR穂積駅周辺整備事業の推進
- 中山道のまちづくりの推進
- コロナ感染防止・災害時の資材・備蓄等の強化



「子育て・教育」子どもたちの未来が光輝くまちの実現

- 放課後子ども教室・公私連携保育所の推進
- 市立小・中学校の英語教育の推進・保育所・幼稚園の質・量の拡充
- 産後ケアの充実・0歳児から子育て支援の推進



「産業・雇用」女性、若人が輝き活躍できるまちの実現

- 若者・結婚期の支援
- 働き方改革の推進
- 地域経済の循環・特産品ブランド化の推進



「環境・農業」水と緑が輝き、環境にやさしいまちの実現

- 「環境都市 みずほ」の創設
- 犀川グリーンインフラ事業の推進
- 有効な土地利用の推進



「地域運営」市民と行政が拓く協創と連携のまちの実現

- 校区活動・地域づくりの一元化の推進
- 「人権尊重のまち みずほ」の創設
- デジタル化による行政報告の実施



「人口減少・行財政改革」持続可能な行政運営を誇るまちの実現

- 公共施設の集約
- 空き家対策・住宅取得の支援の推進
- 新たな財源の確保